

せと 市議会だより

Seto City Council

令和3年
3月定例会

令和3年5月1日号



明治38年 開業間もない頃の駅舎

名鉄資料館提供

瀬戸市の
いまをかし

名鉄瀬戸線
尾張瀬戸駅



昭和初期の駅舎

名鉄資料館提供



瀬戸蔵ミュージアム駅舎



現在

特集 P4~5 令和3年度当初予算
を徹底審査

注目 最終面 YouTube動画を公開中

》 予算大綱説明

令和3年度当初予算を編成するに当たっての、市長の考え方を紹介します。



瀬戸市長
伊藤 保徳

本市では新型コロナウイルス感染症対策につきまして、数次に及ぶ補正予算を編成し、感染の防止を図るとともに、市民の皆さま方の暮らしと命を守り、「新しい生活様式」の実践の取組を進めてまいりました。

令和3年度においても、引き続き、新型コロナウイルス感染症の迅速かつ適切な対策に万全を期してまいります。現時点においては、中長期にわたる今後の動向を予見することは非常に難しい状況ではありますが、先行き不透明な状況であるからこそ、多様化するニーズへの的確に対応し、市民目線で考え、将来を見据えた「持続可能なまちづくり」に向けた歩みを、力強く進めていくことが求められているものと考えております。

このため、コロナ禍という試練をきっかけとして、あらゆることを見直し、「これまでのせと」から「新しいせと」への転換、まさに「温故創新」とでもいふべき考え方で市政運営に取り組み、これまで培ってきた経験を活かしながら取り組んでまいりたいと考えております。

こうした思いから、令和3年度予算案につきましては、市民生活の安全・安心の確保を図るとともに、これまで築き上げてきた本市の強みを土台として、危機を乗り越え、新たな可能性を見出し、明るい未来を切り拓くことを意識した編成といたしました。

》 代表質問

3月定例会では3人の議員が会派を代表して代表質問を行い、新年度の予算や市政運営についてそれぞれ質問をしました。質問を行った順に各会派2問ずつ主な質問と答弁を紹介します。



自民
新政クラブ
宮園 伸仁

本市の今後の歳入歳出予算の財政バランスについて

Q 新型コロナウイルス感染症により社会・経済情勢は全世界的に落ち込んでいる。本市の税収予測においても前年度予算額と比較すると減収が予測される。多様化する市民ニーズに応じていけば、歳出は増加する傾向にある。このような状況の中で、今後どの様に財政バランスをとっていくのか見解を伺う。

A 今後の歳入歳出予算のバランスについては、社会保障費をはじめとする義務的経費の増加により財政の硬直化が進むことや、公共施設の更新に伴う施設整備費や一部事務組合への負担金の増加などを、財政運営上の懸念材料と考えており、アフターコロナに対応した大胆な事務事業や市民サービスの見直しに着手していく。

「新しいせと」を実現させるための第6次総合計画について

Q 「『これまでのせと』から『新しいせと』に転換し『温故創新』という考え方をすすめる」とされているが、第6次総合計画は5年前に策定した計画である。社会・経済情勢が急激かつダイナミックに変化している状況を踏まえると「これまで実施してきた取り組みを一つ一つ着実に進める」ことで「新しいせと」を実現することが可能なのか見解を伺う。

A 「温故創新」は、本市の将来の姿を考えたとき、これまでの経緯、実績を踏まえつつ、現在取り組んでいる事業についても、より効果的かつ効率的なものとしていくよう改めて見直し、この計画の将来像の実現を目指していく思いで表現したものである。将来を見据えた取り組みの積み重ねが「新しいせと」を形づくっていくものと考えている。



公明党
瀬戸市議団
長江 秀幸

新型コロナウイルス感染症対策について

Q これまでも感染症対策として100以上の事業に取り組んできているが、効果、市民の反応等はどのように分析しているのか伺う。また、今後の対応についても伺う。

A 新型コロナウイルス感染症対策の分析については、昨年末に全庁的に対策の評価と課題を洗い出し、取りまとめたものを情報共有し、その後の対策に活かすことを目的とし振り返りを行った。今後の対応についても、この振り返りを基に、引き続き国や県の施策を注視しつつ、市民に寄り添い、感染や社会経済の状況に応じた効果的な支援を検討、実施していく。

第6次瀬戸市総合計画の将来像の実現について

Q 人口の社会増は継続しているものの、全体の人口減少は続いているが、現状をどのように分析しているのか伺う。また、人口減少に歯止めをかける対策についての考えを伺う。

A 今後も社会増を上回る自然減の傾向が一定程度続く見込みであることから、人口構成や財政基盤を、将来にわたり持続可能なものとしていくため、小中一貫教育や中水野駅周辺における新たなまちづくりなどをはじめ、総合計画で掲げた将来像の実現を目指した各種取り組みを一つひとつ着実に実施するとともに、このことを効果的にPRし、子育て世代の転入増加につなげていく。



日本共産党
瀬戸市議団
浅井 寿美

もっともっと検査を。感染が減少している今こそ無症状者の発見を

Q 新型コロナウイルス感染症は、無症状の感染者が感染を広げてしまうという特徴がある。特に重症化リスクの高い高齢者、障害者の命を守るため、無症状の感染者を見つける社会的検査にいよいよ国も踏み切ったが、対象を入所施設の従事者に限定している。訪問やデイサービスなどの事業所で、感染源となるリスクをかかえ仕事に従事している介護士や看護師にも定期的な検査を実施すべきではないか。

A 愛知県の検査体制整備の方針が、感染が疑われる人や濃厚接触者を優先していることなどの理由から、本市独自のPCR検査を実施する考えはない。

一人ひとりの個性を伸ばす教育のために少人数学級の独自の拡充を

Q 昨年12月、日本の少人数学級をめぐる大きな転換が起こり、2021年度から全国の公立小学校で段階的に全学年35人学級に移行することが決定し、本市は4月から小学校3年生が新たに加わり小1～小3、中1が35人学級となる。新型コロナウイルス感染症対策としても、本市独自の実施学年の拡大や、30人以下学級の実施によって、一人ひとりの個性を伸ばす教育を実践すべきと考えるが見解を伺う。

A 本市独自で対象年齢を拡充する計画は考えていないが、9年間切れ目のない、個に応じた小中一貫教育など特色のある教育を推進していく。

どこが変わるの 私たちの暮らし

今回の3月定例会で、市民生活に大きな影響のあることが決まりました

▶18歳まで入院医療費が無料になります

・これまで、15歳まで通院及び入院の医療費は無料でした。新たに18歳まで入院のみ無料の範囲が広がります。

・審査を担当した厚生文教委員会では・・・

Q なぜ対象となる範囲を広げるのか。

A 子育て支援施策の一つとして、入院医療費は高額となることも多いために、県内各市町村の動向などを参考にし、子育て世代の負担を軽減することとした。

Q 仮に通院医療費までをその対象としたら、必要な費用の額はどのくらいか。

A 年間で約1億円の費用が必要となる。

⇒採決の結果、委員全員が賛成しました。

▶介護保険料が引き下げられます

・令和3年度から5年度までの介護保険事業計画に基づき、所得に応じて納める保険料(13の区分に分けられている)が引き下げられます。

・審査を担当した厚生文教委員会では・・・

Q 13の区分の中の第5段階での介護保険料は月額305円の引き下げとなるが、そのための財源やまだ積み立てている基金をどう使うのか。

A これまで積み立ててきた基金約4億円で引き下げに対応していく。残る約6億円の基金は、将来にむけて介護保険制度を持続可能なものとし、また不測の事態にも備える必要がある。このたびの引き下げとなる額の算出根拠については、今後3年間の介護サービスに要する費用等を見込んで算出したものである。

⇒採決の結果、委員全員が賛成しました。



介護保険料基準額(第5段階)の推移

対象年度	月額
H30～R2年度	5,627円
R3～R5年度	5,322円

→ -305円

令和3年度当初予算を徹底審査

～各分科会の主な審査内容をお知らせします～

令和3年度 当初予算	一般会計予算	390億2,000万円 (前年度比 +0.72%)
	特別会計予算	242億7,900万円 (前年度比 +1.07%)
	企業会計予算 (水道・下水道)	77億6,822万円 (前年度比 -8.11%)
	合計	710億6,722万円 (前年度比 -0.21%)

Q 市議の質問

A 市の回答

総務生活分科会

地域防災について

Q 避難所となる体育館について、令和2年度は開設と感染症対策として検温も訓練項目に取り入れられたが、令和3年度では防災訓練の中に感染症対策をどのように取り入れていくのか。

A 昨年7月に避難所開設・運営マニュアルの新型コロナウイルス対策編を作成し、実施すべき対策やレイアウトなどの対応を示した。また感染症対策の資機材の配備を行い、市職員と地域が一緒になって感染症に配慮した避難所の開設・運営を進めていく。

ふるさと納税について

Q 令和2年度のふるさと納税の実績はどうか。

A 3月8日時点での寄附の受け入れ額は約3,622万円、件数は1,130件であり、他の市町村への寄附額は約1億4,700万円である。

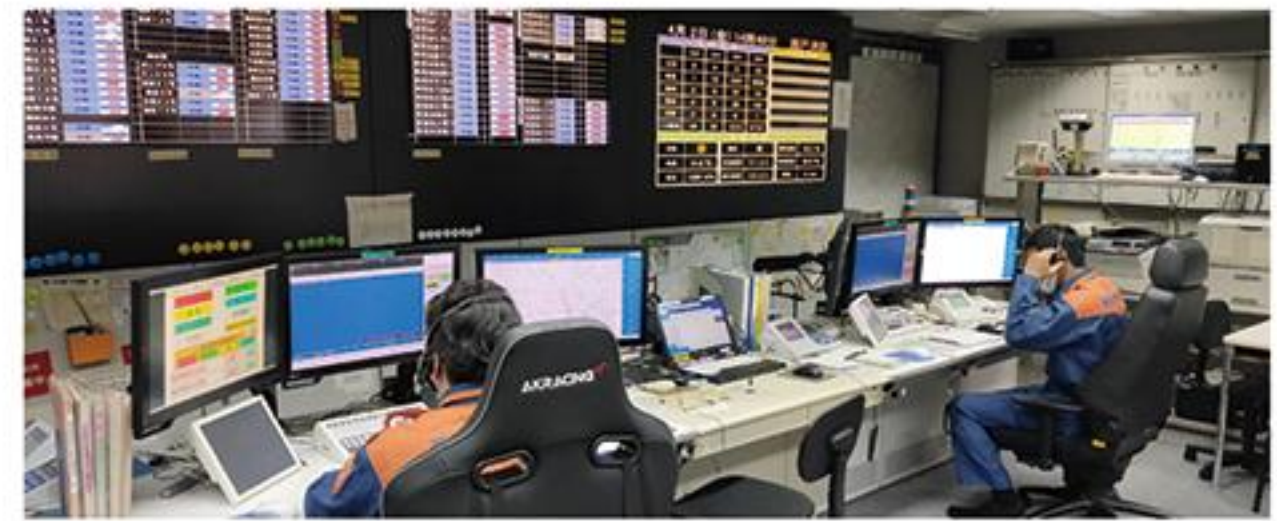
Q ふるさと納税は返礼品についての競争となり、本来の寄附の主旨から外れていると思うがどうか。

A 返礼品については国の制度に基づいて、市の魅力を発信できるものを用意し、本市のシティプロモーションに努めていきたい。

消防指令システムについて

Q 名古屋市との消防指令業務を共同して運用することを進めており、市内で火災が発生した場合には名古屋のセンターで出動車両等の判断をしていくことになるが、現場の状況など正確に判断できるのか。

A 消防指令業務を共同化しても現在の体制と同様であり、必要な情報等は指令システムに取り入れて対応していく。また応援体制についても、先着隊との連携により適切に追加出動の指令を出すこととなる。



瀬戸・尾張旭消防指令センター

ごみ処理について

Q 廃プラスチック容器等の収集を実施すべきと考えるがどうか。

A 国では低炭素・脱炭素社会に向けて様々な検討を進めていると聞いているので、動向を注視して対応を検討したい。

厚生文教分科会

にじの丘学園の通学について

Q 生徒・児童の通学定期代の内訳を伺う。

A 通学定期代として、令和3年度後期分と令和4年度前期分で約2,000万円、登下校時のバスに安全見守りとして同乗しているシルバーセンターの14名分報酬として約700万円である。

基礎学力向上について

Q 学力調査の結果をどのように学力向上に取り組み、活かしているか伺う。

A 基礎学力向上を確認するための学力テストについては、実施後の結果を分析し、子どもたちの学びの状況を把握するとともに、教員の指導方法の工夫や改善に活かしていきたい。

保育所支援について

- Q** 保育補助者雇用強化では、保育士ではなく保育補助員の雇用に対して人件費を補助するもので、保育士の負担軽減にも繋がると思うが、保育士雇用のための人件費補助の必要性についてどう考えるか伺う。
- A** 保育士を雇用するための人件費の補助については、課題を精査し、今後検討していきたい。

高齢者見守りシステムについて

- Q** 災害時、緊急時にどのような人がこの情報にアクセス出来るのか。
- A** 災害時の情報の公開については検討課題になっているが、将来的には市、医療機関等の関係機関で連携していく。

障害者施策について

- Q** 真に効果のある障害者施策7分野23事業について、どのような考え方により立案されたか伺う。
- A** 障害者及びそのご家族や関係者等に対するアンケート調査、及び意見交換会等にて把握したニーズと、自立支援委員会の7つの視点を踏まえ、障害者にとって真に効果のある事業を立案するという考え方のもと、各部連携により令和3年度は7分野23事業を立案した。



もーやっこサポートとは



都市活力分科会

起業・創業支援について

- Q** ツクリテ支援の補助金や起業・創業支援は、中心市街地活性化として、各課が協力しながら行う事業ではないか。
- A** いろいろなツクリテや若い起業家といった方々と空き店舗などの話を結び付けて、一つの単体的なものではなく事業として連携していきたい。



ツクリテセンター

耐震化促進補助金について

- Q** 障害者手当廃止後の取り組みとして、真に効果のある障害者施策の実施のために各部連携して事業を精査し立案したとのことだが、その理由を伺う。
- A** 障害者枠の補助金は、いつ起こるかわからない震災において、容易に避難ができない障害者の安全対策であり、障害特性によっては不特定多数の集団生活となる避難所には避難できないという声があり、今回対応するものである。

水道料金について

- Q** 平成9年4月から水道料金の改定を行っていないが、今後の見通しについて伺う。
- A** 料金改定については、中期事業計画や水道事業の経営戦略で言及されているとおり、純利益が構造的、継続的に赤字になったと判断されたときに、料金改定の検討に入りたいと考えている。

令和3年3月定例会議案一覧

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果
第1号議案	市有財産(土地)の売払いについて	可決(全会一致)
第2号議案	瀬戸市職員定数条例の一部改正について	可決(全会一致)
第3号議案	瀬戸市火災予防条例の一部改正について	可決(全会一致)
第4号議案	瀬戸市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第5号議案	瀬戸市子どもの今・未来応援基金条例の制定について	可決(全会一致)
第6号議案	瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第7号議案	市有財産(土地及び建物)の貸付について	可決(全会一致)
第8号議案	交通事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について	可決(全会一致)
第9号議案	瀬戸市子ども医療費助成条例の一部改正について	可決(全会一致)
第10号議案	瀬戸市国民健康保険条例の一部改正について	可決(全会一致)
第11号議案	瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について	可決(全会一致)
第12号議案	名古屋都市計画八床工業用地地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第13号議案	倒木による物損事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について	可決(全会一致)
第14号議案	瀬戸市市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第15号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第16号議案	市道路線の変更について	可決(全会一致)
第17号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第16号)	可決(全会一致)
第18号議案	令和2年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)
第19号議案	令和2年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第20号議案	令和2年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第7号)	可決(全会一致)
第21号議案	令和2年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)
第22号議案	令和2年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第23号議案	令和3年度瀬戸市一般会計予算	可決(賛成多数)
第24号議案	令和3年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)
第25号議案	令和3年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計予算	可決(全会一致)
第26号議案	令和3年度瀬戸市介護保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)
第27号議案	令和3年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計予算	可決(賛成多数)
第28号議案	令和3年度瀬戸市水道事業会計予算	可決(全会一致)
第29号議案	令和3年度瀬戸市下水道事業会計予算	可決(全会一致)
第30号議案	新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第31号議案	瀬戸市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第32号議案	瀬戸市介護保険条例の一部改正について	可決(全会一致)
第33号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第17号)	可決(全会一致)
第34号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第18号)	可決(全会一致)
第35号議案	令和2年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第8号)	可決(全会一致)
第36号議案	令和3年度瀬戸市一般会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第37号議案	瀬戸市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(賛成多数)

議案番号	件名	議決結果
第38号議案	瀬戸市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第39号議案	瀬戸市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第40号議案	瀬戸市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第41号議案	瀬戸市母子・父子家庭等医療費助成条例の一部改正について	可決(全会一致)
承認第1号	専決処分の承認について	承認(全会一致)
同意第1号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)

◆議員提出議案

議案番号	件名	議決結果
第1号議案	瀬戸市議会会議規則の一部改正について	可決(全会一致)

各議員の議案に対する賛否の状況

上記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

議員名 議案番号	自民新政クラブ											公明党 瀬戸市議団		日本共産党 瀬戸市議団		無会派		無会派		無会派		無会派		無会派		
	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	水野良一	宮菌伸仁	富田宗一	柴田利勝	戸田由久	山田治義	三木雪実	長江公夫	三宅聡	池田信子	長江秀幸	新井亜由美	浅井寿美	原田学	松原大介	馬嶋みゆき	石神栄治	中川昌也	高桑茂樹	臼井淳	藤井篤保	伊藤賢二
第23号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
第24号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第37号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第38号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第39号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

【○】は賛成(同意) 【×】は反対(不同意) 【*】は退席 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。
 なお、富田宗一議員は議長職のため採決には加わりません。

令和3年1月20日 ZOOMを利用したWEB研修

関西学院大学 小西砂千夫教授を講師に迎え、予算審査に備えて「令和3年度の国の予算とコロナ禍における今後の財政状況」について、研修を実施しました。



一 般 質 問

市の行政課題などについて9人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。



無会派
松原 大介

子どもたちの学びの保障のために本市ができることとやるべきこと

Q コロナ禍以後の教育の変化に合わせ、第2次瀬戸市教育アクションプランは、変更・軌道修正が必須と考えるがどうか。また、これから児童生徒が1人1台iPadを始めとするICT機器を活用していくにあたっては、期待される効果は大きいものの、新たに懸念される事項も多々ある。「実体験」や「体験活動」の重要性という観点において、何に注意すべきと捉えているか伺う。

A 教育アクションプランは、新たな施策も組み入れ、見直しを行っていく。五感を使う活動は重要であり、バランスを考えて発達段階に応じた活用を行っていく。（教育政策課）



無会派
中川 昌也

市民のニーズに応えるスポーツ施設の改修策について

Q 陸上競技場の整備不良を訴える声があり、中でも更衣室が倉庫として使われ難儀しているとの声がある。その事実をどのように受け止め対策をしてきたのか。また、現時点で考えている大規模改修実施の見通しについて伺う。

A トラックの整備、更衣室、トイレ整備等の要望があり、予算の範囲内で対応してきたが、更衣室の機能がニーズに応えられない実態があることは心苦しく感じている。大規模改修実施の見通しについては、現時点でいつとは言えないが、多くの方から意見をいただきながら、順次進めていく。（スポーツ課）



日本共産党
瀬戸市議団
原田 学

就学援助制度をより申請者にわかりやすく知らせるために

Q 就学援助制度は申請の際に、学校諸費を滞納している場合は、学校長経由の支給に変更することとし権限を学校長に委任することに同意しなければならないとされている。あくまで、受給者は保護者であり、学校との話し合いによって、各種滞納についての支払いを本人もしくは学校の預かりで支払うのかの選択は本人の判断ではないか。

A 学校諸費の滞納については、保護者の依頼または同意によって、学校側での就学援助費の管理や分納等により対応している。制度案内については、保護者が理解しやすいものとなるよう努めていく。（学校教育課）



自民新政クラブ
高島 淳

教育用タブレット及びICT支援員の導入の効果について

Q 教育用タブレットが導入され、ICT支援員も配置されることになった。このことにより、学びについて、教職員についてどのような効果があるのか伺う。

A 児童生徒一人一台のタブレット端末の配布が完了し、さらにICT支援員も導入され、教員は多様な児童生徒に個別に最適化されたきめ細やかな学習指導が可能になった。ICT支援員についても、機器のサポートや授業の準備などが出来ることにより、教員の働き方改革に繋がり、児童生徒と良好な人間関係を築きながら、学習の指導に専念ができるものと考えている。（学校教育課）

会議の様子は、会議録や録画映像で
ご覧になれます。



Q 市議の質問

A 市の回答



公明党
瀬戸市議団
池田 信子

コロナ禍における生活保護申請について

Q 必要な方がためらう事なく相談や申請をするためには、扶養義務調査や車の使用の制限及び財産調査等への抵抗感から、申請しづらいといった課題があると考えます。そうした課題を踏まえ、コロナ禍における弾力的な対応策等の見解を伺う。

A 今般のコロナ禍が原因で収入が減少し、一時的に保護が必要となった場合には、今後の求職活動や通勤に差し支えることがないように、車の保有や使用を認めたり、生命保険の解約を猶予する等、要否判定において一定の配慮をする。引き続き、適切に生活保護の相談や申請を行う体制の維持に努める。 (社会福祉課)



日本共産党
瀬戸市議団
新井 亜由美

新型コロナウイルス感染症から市内事業者を守る。

Q 陶磁器関連の事業者は、新型コロナの打撃の大きい飲食や観光と直結しており、仕事が減ったまま、中には廃業した事業者もある。今、具体的な支援がなければ経営が立ちゆかなくなると考えるが、今後の支援策では全ての陶磁器関連事業者の仕事が動き出していくような支援策であるか伺う。

A オンライン販売等に伴う送料の補助及び、せと焼のプロモーションを通して、地域経済を支援するため、飲食店などの市内事業者がせと焼を購入する際の補助などの支援を考えている。各種支援策により陶磁器の消費を高め効果を波及させていきたい。(ものづくり商業振興課)



公明党
瀬戸市議団
三宅 聡

小中一貫教育による協働型課題解決能力の育成について

Q 本市教育の大きな目当てのひとつに「協働型課題解決能力の育成」とある。これは仲間とともに自ら学び、考え、生き抜く力のことであるが、実際にその育成にどのように取り組んでいくのか伺う。

A 9年間切れ目ない小中一貫教育において各教科の授業のみならず、キャリア教育、国際教育、地域教育、情報教育等を行う中で、子どもたち同士で話し合い、身近な課題や問題を見つけ、情報収集しながら、解決策について発表することができる力を育てていく。(教育政策課)



無党派
白井 淳

瀬戸SOLAN小学校の学校法人化をなぜ進めるのか

Q 当該学校審議会では、想定入学定員数(1年78人・2年78人・3年52人の合計208人)の確保に努める附帯意見が出されていたが、4月開校に向けた児童生徒の入学状況はどのようなか。また、昨年12月、市職員が文部科学省を訪れ、瀬戸SOLAN小学校が学校法人化の意向を報告しているが、なぜ法人化を目指すのか。

A 瀬戸SOLAN小学校の4月開校に向けての入学予定者数は33人(1年18人・2年9人・3年6人)と報告を受けている。瀬戸SOLAN小学校の学校法人化については、運営会社がお考えになることであり、瀬戸市が目指しているものではない。(政策推進課)



自民新政クラブ
朝井 賢次

本市におけるデジタル化推進について

Q 本市のデジタル化推進にはハード整備同様、職員のICT(情報通信技術)の能力向上も重要と考える。今年度はRPA(ロボットによる業務の自動化)の研修を開催し、人材の育成を図ったが、今後も研修や人事考課等で職員のICTリテラシー(ICTを正しく適切に使う力)の向上を図るべきと考えるが見解を伺う。

A 今後はマイナンバーへの対応等を含め、職員の能力向上が求められる局面が拡大するため、庁内で連携し人材育成に努めていく。人事考課についても能力基準表にICTの習得に関する基準を加え、ICTリテラシー向上に取り組んでいく。(情報政策課、人事課)

委員会の2年間の活動報告

議会運営委員会

当委員会では、2年間の調査研究テーマとして①委員会活動の在り方再検討②事務局体制の強化③基本条例の具現化の3つを掲げました。いずれも議会の政策立案能力を向上させるための課題です。主な成果としては、執行部に対し政策提言を行う場合、これまでは「瀬戸市議会」としていた提出者を、各委員会が発議したものに關してはその委員長を提出者とするを可能とし、委員会の権能を高めました。また予算決算にあたり、その

準備会を充実させたほか、複数の委員会が合同で視察や研究ができるように改正しました。

このほか、新型コロナウイルス蔓延を受け、不測の事態下で議会がどのように活動を継続させるのかを定めたBCP(業務継続計画)を成立させました。また、行政視察では埼玉県飯能市、東京都東村山市において議会のICT活用について学び、参考にしています。

厚生文教委員会

令和元年度及び令和2年度の厚生文教委員会は、主に地域包括ケアシステムの構築、小中一貫校及び小中一貫教育、子育て総合支援センターなどを重点審査事業に掲げ、調査研究を行い、議案審査や政策提案に結びました。高齢者施策の中心を担う、地域包括ケアシステムの構築に関しては、市内地域包括支援センター職員のみなさんとの意見交換会や、先進地である三重県伊賀市への視察を行いました。教育については小中一貫校

(教育)の研究として先進地である京都市立開晴小中学校の視察や、コミュニティースクール、学校支援などを対象に研究を行いました。また、昨年11月には令和2年度開校した瀬戸市立にじの丘学園への視察を行い、今後の瀬戸市の教育についての課題を共有しました。

2年任期となった今期は、各委員が所管の施策審査にじっくりと向き合い、専門性を持ち、議案審査や委員間討議を行うことができた委員会となりました。

都市活力委員会

地域公共交通について、品野台地域力向上委員会、下品野地域力向上協議会、西陵地域力推進会議のグループと、ワークショップ、意見交換、傍聴などを行い、課題を共有することができました。地域再生については、菱野団地センター地区が、地域拠点のリーディング地区に指定され、「未来の菱野団地をみんなで作る会」(みんなの会)が設立されました。役員と委員全員参加のもと、

ワークショップを行い、「若い人が集まらない」、「拠点となる場所が必要である」などの意見聴取ができ、課題を共有することができました。

今後、地域公共交通については、3つのグループとの意見交換、先進都市への調査・研究を、地域再生については、「みんなの会」と先進自治体の報告と今後の課題について意見交換を行い、次年度へ申し送りたいと考えております。

総務生活委員会

委員会の仕組みが変わり、2年間の任期となった最初の委員会でした。

自転車の安全利用の促進、小学校跡地の利活用、投票率の向上、消費生活支援の4つのテーマをもとに活動を続け、滋賀県野洲市の「暮らしの支え合い条例」について、小学校の跡地活用については岡山市出石小学校跡地整備事業について、倉敷市のゴミリサイクル関係などの視察へ行き、投票率向上については提言を求めていく

こととなり、3月定例会中の委員会で、全会一致で承認され、委員会としての提言が出されることになりました。さらに、自転車の安全利用の促進及び活用について、パブリックコメントを実施し、条例の策定に向けて進めています。

今回、総務生活委員会の活動は、研究事項から条例の制定、提言の提出など、市民に対して開かれた議会を進めていく議会改革の一助となり得たと思います。

瀬戸市自転車条例(案)について

瀬戸市自転車の安全で適正な利用の促進及び自転車の活用推進に関する条例(案)に、ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

意見募集の結果につきましては、瀬戸市議会のホームページで公開しております。なお、この条例(案)につきましては、5月の臨時会で議案として提出予定です。

5月臨時会開催予定

- 5月10日(月) 本会議
- 5月11日(火) 本会議
- 5月13日(木) 総務生活委員会・厚生文教委員会
- 5月14日(金) 都市活力委員会

6月定例会開催予定

- 6月7日(月) 本会議(開会・議案上程・説明)
- 6月10日(木) 本会議(一般質問)
- 6月11日(金) 本会議(一般質問)
- 6月14日(月) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
終了後 予算決算委員会
- 6月16日(水) 総務生活委員会
終了後 予算決算委員会総務生活分科会
- 6月17日(木) 厚生文教委員会
終了後 予算決算委員会厚生文教分科会
- 6月18日(金) 都市活力委員会
終了後 予算決算委員会都市活力分科会
- 6月22日(火) 予算決算委員会
終了後 議会運営委員会
- 6月24日(木) 議会運営委員会
- 6月25日(金) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時から(5月13日厚生文教委員会は午後1時)の開催予定ですが、日程が変更される場合がありますのでご確認ください。

※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。

※請願・陳情の提出締切日は、5月26日(水)の午後5時です。

瀬戸市議会の情報番組のお知らせ

瀬戸市議会では、以下の番組において議会情報をお知らせしております。



グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは!瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

6月定例会放送予定

7月12日(月)から7月18日(日)まで

放送時間

(7:25~、9:25~、12:15~、18:25~、
20:25~、22:25~
土・日のみ7:25→14:25となります。)

※詳しくはグリーンシティケーブルテレビから配布される番組表をご覧ください。



RADIO SANQ

「せとまちラジオ」(FM 84.5MHz)

6月定例会放送予定

6月8日(火) 7月6日(火)

放送時間 (9:20~、12:30~、18:00~)



せとまちトークについて

「せとまちトークアンケート」を実施します!



箱作成風景



アンケート箱



詳しくは、瀬戸市議会ホームページをご覧ください。

次回のせとまちトークについて

「せとまちトーク～市民と議会との意見交換会～」は年2回(5月、11月)の開催を基本としております。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月の開催は中止といたしました。市民の皆さまの議会活動及び市政に対するご意見をいただきたく、「せとまちトークアンケート」を実施いたします。

アンケートは令和3年5月1日～31日まで実施し、インターネットによる回答をはじめ、市役所・公民館をはじめ市内公共施設31ヶ所へ意見箱を設置いたします。

より「住みやすいまち」にするため、ご意見・ご要望をお聞かせください。いただいたご意見は現状を把握し、瀬戸市議会で話し合いをさせていただきます。

詳しくは、瀬戸市議会ホームページ、Facebook、instagramをご覧ください!



アンケート



Facebook



Instagram



編集後記

今回で、長江公夫部会長のもと5名の委員と議会事務局2名によるメンバー最後の編集となります。市政のチェックや議会の役割と活動を中心に市民の皆さんに、見やすく、わかりやすい内容をモットーに編集してまいりました。2年間ご愛読いただきありがとうございました。

次回からは新しいメンバーでの編集になりますが、今後も市民目線でより開かれた議会の情報を伝える紙面となるように務めてまいります。

議会だより編集作業部会一同